まつやま Re:Generation 3つの宝 03

ことば文化

RE:GENERATION

Language culture

数多の文人が生まれ、
墨客が去来しつつ
育んだのは全国に誇れる
「ことば文化」

松山から発信する
俳句とことばの文化

「ことば」にちなんだ名所もイベントも多数

俳人・正岡子規が、松山市で生まれたのは1867（慶応3）年の秋。34年の長くはない生涯で残した俳句は、約2万5千句を数えます。また数だけではなく、自然や事物をありのままに写し取る「写生論」を唱えて、俳句と短歌の革新を実践したことが高く評価されています。子規はこの考え方を散文にも取り入れており、友人である夏目漱石も彼の影響を受けたひとりでした。俳人という枠を超えて、日本の文学界に大きな変革をもたらした子規は、紛れもなく明治を代表する文学者であり、多くのフォロワーを生み出しました。

偉大な先人の魂は、今も脈々と受け継がれています。子規の生涯や作品、彼が生きた明治の松山を紹介する松山市立子規記念博物館、点在する句碑や俳句ポストは、まさに俳都の象徴。俳句甲子園は若い世代が俳句に親しむ好機となっています。また江戸時代に活躍した俳人・栗田樗堂や昭和時代に松山を訪れた種田山頭火の庵は、しっとりとした風情を感じさせる場所として観光客にも人気のスポットです。

そして、市内のあちこちに掲示された「ことば」も市民を力づけています。これは2000年（平成12）から始まった、官民が協働して行っているまちづくり事業「ことばのちから」の成果。定期的に「ことば」を募集し、掲示や発信、ことばにまつわるイベントの開催など、多様な取り組みを展開しています。正岡子規をはじめとする先人たちが生み出してくれた「ことば文化」にさらなる磨きをかけて、未来へとつないでいるのです。

Matsuyama is the birthplace of poets like Shiki Masaoka, who was part of the revolutionary movement of modern haiku and tanka. Great literaries such as Natsume Soseki are also deeply associated with the City, where visitors can fully enjoy the culture of words through haiku and literature events.

俳都松山俳句ポスト & 俳句ポスト365

「俳都松山俳句ポスト」は、主要観光地やホテル・旅館、路面電車など80カ所以上に設置し、四季に合わせて3カ月に1回選句をしています。
また、令和3年4月にリニューアルした俳句投稿サイト「俳句ポスト365」は、俳都松山大使の夏井いつきさんらが選句。多くの人に利用いただいています。

「俳都松山宣言」

2014年、「俳都松山宣言」を発表。俳人の夏井いつきさんを俳都松山大使に任命し、俳句のまち・松山を全国にPRしています。俳句に関連したさまざまなイベントも企画・開催しています。

俳都松山
Haiku Capital Matsuyama

ことばのちから

一般から公募した「ことば作品」を、「街はことばのミュージアム」と題し、市内電車や松山空港など市内各所に掲示。「ことば」を生かしたまちづくりを行っています。

坊っちゃん文学賞

松山市の豊かな文学的土壌を生かして、本市の文化的なイメージを高め、全国にPRするため、昭和63年に「坊っちゃん文学賞」を創設。令和元年度の第16回からリニューアルし、ショートショート作品を募集しています。

まつやま子規亭

子規記念博物館を会場に、好奇心旺盛だった子規が生きていたら興味をもち、喜ぶものなどをテーマに、各界の著名人が公演を行っています。